



# ひじ 議会だより

2013

No. 91

題字は豊岡小6年 <sup>たなか</sup>田中 <sup>ほるな</sup>陽菜 さんです

平成25年 1月 31日 (年4回発行)

発行: 大分県日出町議会

電話: 73-3135



## 目次

### 12月定例会

- 予算常任委員会 ..... 2  
     予算委員会・議会改革調査特別委員会
- 議員定数条例を採決 ..... 3  
     定数削減条例の結果
- 常任委員会 ..... 4  
     総務委員会・産業建設委員会・社会厚生委員会
- 町政全般を質す ..... 6  
     一般質問
- 研修視察 ..... 12
- 町民の声 ..... 14



議員が編集した  
手づくり議会だよりです

火遊びは絶対しません! 出初式でお約束(日出・大神保育園幼年消防クラブ)

議会などの審議の記録は町のホームページでもご覧いただけます。

# 12月定例会

12月6日から21日までの16日間の会期で開かれました。条例改正や予算など承認1件、議案11件、諮問1件、同意3件、陳情1件を審議、慎重審査の結果すべて原案どおり可決・採択しました。また一般質問には6人の議員が登壇しました。議員定数条例の一部改正についての発議は否決となりました。

## 予算委員会

一般会計補正予算総額1億9014万円、特別会計補正予算は総額2億1464万円。全会一致で可決です。

### 主な歳出

#### 食の安心・安全

全額県の助成で、消費者に対する食の安全と普及啓発を行なう  
107万円

#### 鮮魚さばき所設置

ハモ祭りの開催で内外に浸透しつつある「別府湾特産日出のハモ」の消費量・販路拡大を支援  
571万円

#### 音楽室に防音サッシ

日出中学校の音楽室に防音サッシを設置  
168万円

#### 給食センター充実

施設・機械などの改修、アレルギー食対応容器の追加購入  
308万円

### 災害復旧

九州北部豪雨による被災農地・農業用施設の復旧  
1175万円

### 人材ネットワーク

地域に眠る有資格者を発掘、登録・研修を行い、生活弱者の困りごと相談に応じてもらい、行政につなげる  
141万円

### 歳入

今補正の主要財源は、普通交付税の決定に基づく1億6305万円の増額です。その他、国・県の事業費の増減補正、㈱さとうベネツクの豊岡小学校改築工事契約解除に伴う違約金6270万円を増額補正しています。

## 議会改革調査特別委員会

### 審議事項を中間報告

委員会では提案された事項を審議の結果、3項目が結論に達したことで、議長に対して報告しました。

### ②政策提案できる仕組みづくり

作業部会を設置し全議員で議論、提案していく。喫緊の課題は、県外土砂搬入問題、水資源保護や災害に強い町づくり。

### ③住民に開かれた議会

テーマを設定し住民と意見交換会を行う。

### 委員会の所管課

#### 〔第一委員会〕

- ・総務
- ・財務
- ・政策推進
- ・税務
- ・契約検査
- ・会計
- ・農林水産
- ・監査
- ・都市建設
- ・上下水道

#### 〔第二委員会〕

- ・農業委員会
- ・生活環境
- ・住民
- ・福祉対策
- ・健康増進
- ・商工観光
- ・教育委員会

### 議員定数を集中審議

定数削減の先行は議会改革の担保とならない。まずは、議会の質を高めること、議会活動で行動することが先である。将来の削減は別として、次期改選は現行のまま16人とすることを決定。



整った環境で部活練習を(日出中吹奏楽部)

# 議員定数2名削減の条例改正

# 11対4 で否決

議会最終日に議員定数2名削減の発議が提出されました。反対・賛成討論をそれぞれ2名が行った後、採決。反対11賛成4で否決となりました。

## 賛成者

工藤 健次  
熊谷 隆信  
佐藤 隆信  
藤谷 藤置  
藤谷 健次  
久克 健次  
幸夫 次作

## 反対者

城 美津夫  
佐藤 隆二  
佐藤 藤  
白藤 昭  
後藤 昭  
森藤 昭  
安藤 昭  
田部 昭  
藤井 昭  
池田 昭  
土田 昭  
亮淳 昭  
治子 幸郎  
一人 佑義  
信郎 夫

## 笠置久夫議員提出 で最終日に発議

### 提案理由

これまで改革委員会で定数削減を検討してきましたが、現委員会の結論は現行どおりである。しかし改革委員会を設置した以上、町民の皆様に対して、2名削減という目に見える改革を示す必要がある。

## 賛成討論

### 工藤 健次議員

改革委員会が設置されて3年が経過しようとしていますが、改革が一向に進んでいないのが現状です。執行部にはスピード感を持つて行財政改革を推進するように言ってきたのに、議員が議論ばかりを続けていいのか。何のための議会改革か分からなくなっている。まずは、町民の目に見

える改革を早急に実施していくべきです。議会改革はだれがするのかが、議員一人ひとりが真剣に考え、できることから進めていくべきで、改革ができれば議員自らが身を削り、報酬や定数の削減をしていくしかないものと考えます。次期改選後は、少数精鋭でやっていくべきです。

### 熊谷 健作議員

新しく選ばれた議会改革委員会が出した3つの中間報告は、1年余り真剣に討議されたもので、大変尊重すべきで、ぜひ実行されなければなりません。しかし、それと同時にやはり目に見える改革をしなければならぬと思います。

町の議会議員選挙投票率は、前々回70%、しかし前回は65%と大きく低下しています。それだけ町民の皆さんの我々議員に対する目が厳しくなっています。議員定数を2名削減し、町内外に日出の議会は真剣に改革をやるんだという決意を示すべきです。議会に対する信頼をもう一度取り戻すために。

## 反対討論

### 森 昭人議員

18年に定数6名を削減したが、一方で大幅な削減が、議会自らの体質を変えることができない、議会改革が遅々として進まない理由になっていてと考えられる。6名削減してできないことが2名削減してできるとは考えられない。

定数削減で、財政的には寄与することはできるが、そのことにくらぶと、体質改善や議会改革が後回しになれば、同じことの繰り返し。現時点で削減しても今のままの議会がただ規模が縮小するだけで、体質は全く変わらないということだと思います。まず議会基本条例の策定、政策提案できる体制づくりが必要。

### 佐藤 隆信議員

定数の削減は、マスコミや他の自治体がどうかということではなく、本当に財政が切迫したときに自らが提案するものであり、現状はそういう状況ではないと思います。それよりも本当に開かれた、信頼される議会・議員になる方向に向け行動することが先決であると考えます。

議員は住民から選ばれた住民の代表であり、住民の代弁者として、議会ですっかり働くことが期待されています。議員一人ひとりがこれまで以上に勉強し、それぞれの特を生かしながら、議案提案や条例を提出できる議会にならないければなりません。これらは定数の削減だけで解決する問題ではないと思います。

# 常任委員会

## 総務

### 議案の審査結果

プロポーザル審査委員会  
条例の制定

審査委員の報酬規定を  
明記するものです。

### 税条例の一部改正

寄附金税額控除の対象  
を拡大するものと、入湯  
税の課税免除の対象を拡  
大するものです。

### 防災対策

災害時の避難路の誘導  
灯を太陽光発電にとの要  
望をしました。また、各  
区の避難経路を閉会中に  
現地調査する予定です。

### コミュニティバス

利用率は当初の見込み  
を上回っています。特に  
真那井線は運賃の引き下  
げにより、大幅な伸びを  
示しています。

### 地域通貨事業

初期の目標を達成する  
ことができず、今年度で  
終了します。委員会とし



町民の期待に応じてコミュニティバス（真那井線）

### 閉会中の審査

11月14日開催

### 防災関連事業の概要

12月に開催し、男女16  
名ずつ参加し、4組のカッ  
プルが成立との報告でし  
た。

### 来庁者への挨拶

職員の挨拶が不十分で  
あるとの声が相変わらず  
多いので、早急に改善す  
るよう要望しました。

防災関連事業の概要の  
報告を受けました。

- ① 防災無線を今年度8基  
設置し、29年までに全  
41基を設置
- ② 防災倉庫を避難所7カ  
所に設置

- ③ 防災士の資格取得を奨  
め、受験費用の補助

## 産業建設

### 議案の審査結果

### 町道の廃止・認定

馬場前西新開線は地元

- ④ エリアメールの導入
- ⑤ 防災マップを作成し、  
地理情報システムで空  
間データを総合的に管  
理、加工し、視覚的に  
表示
- ⑥ 避難所案内板を町内15  
カ所に設置

委員から、沿岸の低地  
域にある各区で連絡協議  
会を立ち上げ、情報交換  
や合同訓練を要望。

### 税の徴収

会議を関係各課で開き、  
強制執行を強化する方向  
になりました。

### 町報の受注業者

町報の印刷受注事業者  
が倒産しましたが、速や  
かに新しい業者を選定し、  
発行に支障のないように  
しました。

### 閉会中の審査

11月13日開催

### 大田公園

### 複合遊具業者決定

10月5日に審査を行い、  
タカオ株式会社に決定し  
ました。審査では、利用  
者である子どもや保護者  
の評価を取り入れるため、  
各幼稚園や小学生にアン  
ケートを実施し、その結  
果も評価点の一部としま  
した。25年3月に工事完  
成、4月から利用できる  
ようにします。

### 由布合成株式会社開始

11月10日に工事が完成



稼働を開始した由布合成棟

全会一致で採択しました。

#### 認定こども園

聖武幼稚園が25年4月1日から幼稚園型認定こども園になり、2歳児12名の定員で始めます。

#### 土砂たい積事業

町の許可で、大神2・真那井1カ所の申請がありました。監視活動をしっかり取り取るよう要望しました。

### 閉会中の審査

10月29日開催

#### 〈現地視察〉

#### 芝生化事業

行政視察の事前研修として、日出・川崎・大神・藤原の各幼稚園と安養寺グラウンドで実施されている芝生化の状況を調査しました。

11月19日開催

#### 豊岡小学校校舎改築

新成建設㈱が、残工事を落札して12月から工事を開始、5月末完成の予定です。

#### 給食センター

25年度内に、調理・配送部門を民間委託する予定で検討中です。安全性の問題や責任体制をしっかりと取り取るよう指摘しました。

#### 認可外保育園

こじか保育園が、12月1日から定員30名（1歳・未就学児）で佐尾地区に開園します。

#### 認知症サポーター

国が、各所で認知症サポーター養成講座（90分）を開催し、29年度末までに600万人の認知症サポーターを作ります。

#### 産業廃棄物中間処理施設

藤原の施設は、10月30日で、関西方面からの廃棄物を全て撤去し、今後は受け入れない旨の報告が県から入りました。

## 社会厚生

### 議案の審査結果

新しい図書館の建設を求める陳情書

萬里図書館協議会委員

10名からの、新しい図書館の建設を求める陳情は、

「ひじ産業まつり」で焼き芋にして無料でふるまわれました。

### 遊休農地を活用

農業委員会は、自主的に遊休農地の活用を行っています。今回、7月に植えたサツマイモが収穫期を迎え保育園児18名を招きました。

収穫したサツマイモは



身体づくりの一助、園庭芝生化（大神幼稚園）

# 一般質問

## Q&A ここが知りたい



森 昭人 議員  
(日出地区)

**問** 人口増加率が半減  
直接的支援で定住促進

**答** 最重要課題ととらえ  
今後予算を検討

**問** 国政調査によると、近年の人口増加率は以前の半分以上となり、反転しつつ人口減少になってもおかしくない状況です。町外からの転入者や新婚世帯に対する自己の住宅建設または取得助成、民間の宅地開発業者への助成金など、定住促進のための直接的な支援制度を確

立すべきと考えますが。

**政策推進課長**

人口増の鈍化には非常に危機感を持っています。子育て支援やインフラ整備などの総合的な観点から、有効な手段を今後考えていきたいと思っています。

**町長**

定住促進の支援策は非常に大事だと思っています。課題としてしっかりとらえ、どういう予算を組むかということは今後検討させていただきます。

**問**

人口増加は町の活力の源泉。定住促進施策を構築実行し、人口問題を専門に扱う課または係をつくるべきと考えますが。

**政策推進課長**

現在の職員定数では難しいですが、総合的な問題ととらえ、各課横断的に物事を考えるワーキングチームを作り対処していきたいと考えています。

**町長**

人口3万人は、「全ての行政部門がその任を担い課題解決に向かった町政を進める」私はこれに尽きると思います。抽象的ですが、基本的にはそういう方向で今後とも努力させていただきます。

**教育特別予算で  
特色ある学校づくり**

**問**

各小中学校ともに教育目標を定めています。予算に反映されていないのが現状です。学力向上を含む児童・生徒の健全育成に特色を持つて取り組めるよう、各学校ごとに、自由な発想で使える「教育特別予算」を創設しては。(百万円程度)

**学校教育課長**

教育活動に関する予算は、国や県の指定研究の補助金がほとんどで、確かに特色ある学校づくりのためには、学校が主体的に自由に使える予算が

あれば大変有効であると考えます。財政当局と協議しながら積極的に検討していきたいと考えています。

**学校司書補の報酬は  
全額町費で**

**問**

学校司書補の報酬の約3割は、PTA会費からの支出で保護者負担となっています。全額町が負担すべきでは？

**教育総務課長**

町費になると非常勤扱

いで、給与年額によって扶養から外れたり、定年があつたりと課題があります。財政的なことも勘案して、学校現場や司書の方々の意見も参考に検討したいと考えます。

•その他、来年度当初予算、町を活性化するための新規事業について質問がありました。

**質問を終えて**

当局は積極的に新規事業に予算を



内野地区の民間開発

## 町営住宅老朽化対策は

問



後藤 佑議員  
(藤原地区)

答

入居者の皆さんと  
十分相談し対応します

問 青津山住宅は、40年経過しています。老朽化が進んでいます。老朽化が進んでいますが、建て替えなどの検討はされていますか。

都市建設課長

22年に公営住宅長寿命計画に着手しています。青津山住宅は、5戸および6戸が連続してある長屋形式で空家が29戸です。

防犯上、また環境上若干問題があると思います。で仮設住宅などで対応し順次空きが多くなった長屋から取り壊しを進めていく提案が最も有効な手段だと思っています。入居者の皆さんと十分相談し対応したいと思っています。

問

南海、東南海地震などが発生した時避難所には最適だと考えていますか。

都市建設課長

高台にあり、1万6300㎡の敷地を有しているため、防災担当と地域の活用ができないか検討させていただきます。

町長

建て替えれば当然家賃の増額などの問題も発生します。いろんな課題もありますので関係課と相談しながら検討いたします。

## 新エネルギーの管理は大丈夫？

問

太陽光発電が町では多く申請されていますが傾斜地などの災害が心配されます。対応は大丈夫ですか。

政策推進課長

都市計画法上の開発申請は、開発行為に当たらないケースがあり、その指導があるようです。そうすれば、個々の法律により規制を受けることに

なります。

非農地の場合や個々の法律に該当しない場合把握できないので、土地所有者の責任で対応するしかありません。農地は、農林水産課と農業委員会が連携し協力しながら雨水対策の指導を行います。

太陽光発電設置に関する開発行為の法規制がまだ十分確立されていませんので、県や国に法整備を行うように進言したいと考えています。

問

藤原地区には、池が多くありますが、高い所にもあるので短時間でも使用できる揚水発電所などできないか調査するだけでも良いので※NEDOの活用ができませんか。

政策推進課長

町には、57カ所の池があります。池と池の標高差を利用して電力需要の大きい時間帯に発電するものですが、水を汲み上げるために消費電力が30%割増しになりますので、厳しいと判断しています。再生エネルギーは、バイオマスや、風力など町に何が適しているか調査し検討したいと考えています。

・その他、いじめ問題の質問がありました。

質問を終えて

入居者の皆さんとの対話を大切にして下さい。



新エネルギーとして注目をあびるメガソーラー



熊谷 健作 議員  
(豊岡地区)

**問** いじめの調査方法とその公表は？

**答** 年3回のアンケートを実施  
公表はしていません

**問** 保護者への公表をなぜしないのですか。

**教育長** 公表の数字だけがひとり歩きし、様々な憶測を呼んで今後の調査に影響する可能性があるからです。

**問** 調査の中でいじめが解消したとありますが、そ

の後の見守りは。

**学校教育課長** 教育相談週間などを設けてフォローするよう指導しています。

**問** 普段の予防策と事件が起きた時の対応は。

**学校教育課長** 毎日の生活ノートや教職員同士の情報交換などにより早期発見・対応に努めています。

**問** 学級担任任せでなく、校長のリーダーシップのもと各教諭やカウンセラーで協力して対応していきます。

**問** 重大ないじめ（暴行、恐喝）があったとき、警察への通報、出席停止の措置はとりますか。

**学校教育課長** 場合によっては十分考えられます。

**問** 学校現場では先生方の時間が圧倒的に足りないという声を聴きますが、

人員は充分ですか。

**教育長** 確かに要望は出ています。しかし、私は先生方が子どもたちの状況を見抜く鋭さを持つてほしいと言っています。また、会議を減らし、できるだけ子どもたちの前に立つ努力をお願いします。

**教育委員会の現状**

**問** 学校現場へはどれくらいの頻度で、また抜き打ちで行くこともありますか。

**教育長** 年度当初に1回と授業公開への参加です。委員の方には遠慮なくいつでも訪問するよう、お願いしています。

**問** 教育部局の独立性はどうお考えですか。

**教育長** 首長と教育委員会は常に連携、協力していかな



熱心な議論が続く 教育委員会

ければなりません。しかし、一定の独立は保たれるべきで、現在もそうであると思います。

**町長** 時代の進展により、教育長にも行政手腕を發揮してもらおう、私も教育分野に入っていくことが必要と考えます。ただ教育内容への介入はよくないと思います。

**問** 研修費や、調査・活動費を増やしてもいいのは。また広報活動にも力を入れていただきたい。

**財政課長** 協議していきます。

•その他に公共事業の用地交渉で何カ所も難航している件につき、原因と解決策を求める質問がありました。



## 職員研修は、 体験型を多く

問



工藤 健次 議員  
(大神地区)

## 十分な研修計画 を練ります

答

**問** 行政には民間型の考えや発想が求められており、職員研修に効果的な体験型研修を多く取り入れては。

**町長** 職員の意識改革を重点にしています。体験を通して重要なものを学ぶことができ、話を聞いただけでは分かりにくい部



率先して行政サービスを（体験型職員新人研修）

分が多々あり、この点を重視して、研修計画を作っています。

**問** 職員が率先して町民の先頭に立つて行政サービスに当たっていくことが町の課題であり、従来型の行政の踏襲であつてはなりません。今後十分な研修計画を練ります。

**総務課長** 研修対象者、回数、内容

第2次行財政改革プランの柱に職員の意識改革と人材育成を掲げています。23年度は、中堅、若手、各階層の職員研修と専門的な実務研修を8回、述べて344名になっています。

### 空き家を町営住宅に

問

南端小・中学校区は、少子高齢化の影響で過疎

化の問題が深刻になっています。

空き家などを借り上げて改築し、町営住宅として子どものいる家庭に貸し出す考えは。

**町長**

地区の方から「町営住宅を作ってほしい」との話がでており、町営住宅を作ることは有効な手段だと思います。

小・中学校が少人数になつている事態は大変憂慮すべき問題ですが今、即答はできません。今後とも努力します。

**政策推進課長**

空き家バンク制度を始めて登録の広報をしており需要はありますが、供給する空き家の登録がありません。都市建設課と連携しながらやっています。

すが、理事長である副町長は、今の実態をどの程度把握していますか。

**副町長**

事務局長が短期間に交代せざるを得ない、不測の事態を招いたことはお詫び申し上げます。

設立当初の事務局長が10月末で健康上の理由で退職、新たに迎えた局長が事務に支障をきたす状況が生まれ11月末で退職しました。

現在は女性職員と男性臨時職員1名で業務をしており、早急に臨時職員を事務局長に昇格させ事務局体制の確立を図ります。さらに事務量の軽減を図るため新たに臨時職員の採用を検討しています。

### シルバー人材センター事務局体制を確立せよ

問

3回目の質問になりま

質問を終えて

早急に体制の確立を

問 幼稚園で  
2年保育を



佐藤 隆信 議員  
(大神地区)

答 今のところ、実施する  
予定はありません

町の保育の状況は、保育園は定数を大幅に超え、逆に幼稚園は定数割れになっています。これを解消するため、幼稚園の4歳児、5歳児の2年保育をしたらどうですか。

教育長

5歳児が帰ってくれば施設改修でこと足りますが、2年保育になれば、4歳児がどの程度来るよ

うになるか分かりませんが、施設や設備、備品など全体的な整備と職員の配置が課題となります。幼稚園が定足数に達していない現状には危機感を持って対応していきませんが、今のところ2年保育を実施する予定はありません。

問

現在町内の保育園は89人の定員オーバーとなっています。この詰め込み保育を解消するため、低所得者の保育料軽減や7時までの預かり保育をすべきでは。

教育長

保護者からは時間延長よりも、春休みの対応の声が大きいということなので、新年度からの卒園児の預かり保育をまず検討しています。

町長

子ども手当があるので何もかも軽減というわけにはいきませんが、しっかりと踏み込んで対応していきたいと考えます。この問題の議論は随分長期にわたっています。できるだけ早く私が責任を持ってお答えさせていただきます。



多くの園児が学んでほしい幼稚園教育（日出幼稚園）

きます。

高齢化地域の町道の草刈りに町費

問

予算の関係で町道や農道の草刈りができない地域は、地域のボランティアが行っています。高齢化した農村地域ではそれができないのが現状。草刈りや補修は年次計画を立ててやっていますか。

都市建設課長

危険の度合い、他事業との関連、地域特性として予算配分を考慮して、迅速な対応を心がけています。案件によっては時間を要しますが、継続的に実施していきたいと思っています。

問

真那井地域ではボランティアで草刈を行っている人がいますが、地域でできる人たちがいれば、一定の有償でやってもらうことができますか。

都市建設課長

現在、自治区や業者ま

テキサス日出工場の解雇対策

問

日出町在住145名がテキサスを解雇されようとしています。対策室をつくり、具体的な対策を講じるべきでは。

町長

会社や県、ハローワークと連携を図り、対策をとっていきたいと考えています。場合によっては、職員を配置して相談窓口も大きく広げたいかならないかと思っています。

質問を終えて

保育園と幼稚園の問題は早急に対策を

「子ども・子育て会議」  
設置に町の方向性は

当事者の意見が反映  
できるようにします



池田 淳子 議員  
(藤原地区)

問

子ども・子育て3法が、早ければ27年度に動き出し、国では25年4月に「子ども・子育て会議」が設置されます。各市区町村では「地方版子ども・子育て会議」を設置することが努力義務化としていますが、町の方向性は決まっていますか。

答

**福祉対策課長** これらの法律は認定子ども園制度の改正など、地域の子ども・子育て支援の充実を目指すものです。国や県と連携し、地域の実情に応じた給付などのあり方を設計するとともに計画の策定に当たっては関係各課の連携を図り、「子ども・子育て会議」を設置して当事者の意見が反映できるようにしていきます。

問

どういう方を選定する予定ですか。

**福祉対策課長**

子育ての支援者や、当事者などを入れた会議をもつて組織したいと思えます。

問

新制度への移行に当たり、事業計画また条例の策定など、かなり膨大な準備が必要だと思われる。円滑な移行を目指し、

準備組織を立ち上げて対応すべきでは。

**福祉対策課長**

準備組織の設置も含め、体制整備を25年度を目標に教育委員会部局をはじめ関係各課と協議をしていきます。

問

利用者に対して新たな制度の情報を丁寧に提供するとともに、気軽な相談にも応じられる体制を整えていくことが必要です。

**福祉対策課長**

計画策定後は、本計画の周知を図り、子ども・子育てに係るサービスの利用促進に努めていきます。

問

本格施行に向け、事業計画を26年度半ばまでに策定するためには、ニーズ調査のための経費を25年度予算に計上することが必要では。

**福祉対策課長**

ニーズを把握するため

に予算計上を計画していません。

不育症に助成を

問

不妊症には助成制度がありますが、妊娠してもおなかの中の赤ちゃんが育たずに流産・死産を繰り返す不育症に対しても助成をしては。

**福祉対策課長**

他の市町村の助成状況を見ながら検討したいと思えます。

問

不育症に関しての相談ができる窓口を設置しては。

**福祉対策課長**

市町村独自の相談窓口は考えていませんが、その都度保健師などが対応します。

質問を終わって

まずは不育症という症例を周知すべき。



子育て支援は重要課題

# 今後の施策に活かす

## 震災の状況と 防災対策

議会運営委員会

日時

24年11月20日～22日

研修先

宮城県亶理郡亶理町

研修目的

日出町が支援を続けている亶理町の震災の被害・復興状況の調査で、町の今後の防災対策に生かすため。

東日本大震災の亶理町における概要

- 津波浸水面積 町の面積73・21km<sup>2</sup>の約48%が浸水
- 震災時の世帯・人口数 1万2442世帯

- 被害総額 3万5585人
- 仮設住宅入居者 3352億円

- 1018世帯3143人
- 5600棟を超える住宅が全半壊し、死者305名、負傷者44名を数え



亶理町役場プレハブ庁舎

ています。

亶理町には、県が500億円かけてガレキ処理のプラントを作つて処理をしており、周辺地域よりは被害も少なく復興が進んでいるように見受けられました。しかし、町中のいたる所で道路工事が行われており、高速道路から海岸線にかけての田畑などは塩害処理もまったく進んでいない状況で、まだまだ完全復興には、相当長い年月がかかると思われました。

この後、三陸地方の気

仙沼市・南三陸町・陸前高田市などに立ち寄りました。海岸線の町や集落は建物の基礎を残して何もない状態で、かなり奥深くまで津波が押し寄せた跡や、地盤沈下で水没している光景などをみると地震津波の恐ろしさを再認識させられました。

研修を終えて

防災対策で一番大切なことは、防災教育を徹底し地震があれば先ず安全な場所に避難する訓練を繰り返し行うことだと思います。

## 災害に備える 防災組織の強化

総務常任委員会

日時

10月24～26日

研修先

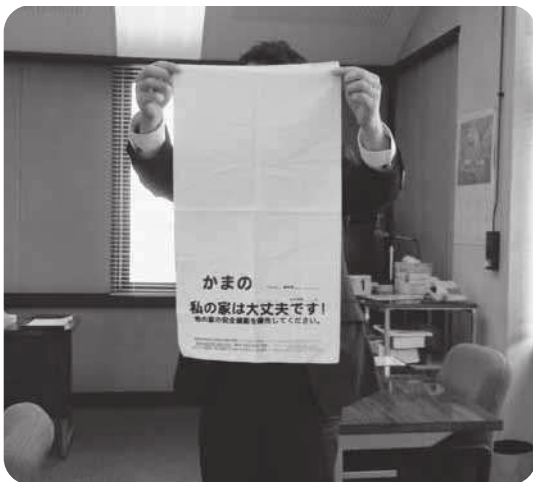
静岡県吉田町

研修目的

津波対策、自主防災組織が確立している両町の経過と現状を調査・研究し、できるものから取り組んでいくため。

静岡県吉田町

防災課を設置し5人の職員、今年度21億円の予算を充て、津波対策などの防災まちづくりに力を入れていきます。町長は防衛省出身、副町長は財務省OB、担当理事は国土交通省からの出向と万全の体制です。そのため国、県との連携が密で多額の事業を展開しています。主なものでは、防災行政ラジオの無料配布、避難タワーの設置、防波堤・堤防のかさ上げなどです。



安否確認の黄色い旗（二宮町）

# 先進地に学ぶ

避難タワーは公道上に設置する巨大な歩道橋で、台上に1200人が上がって避難でき、今年度9基（1基当たり約1億5千万円）設置します。危機感が強いとは言え、日出町と年間予算が変わらないのに、これだけの交付金を国から受ける熱意に強い驚きを覚えました。

## 神奈川県二宮町

地震対策に熱心に取り組んでいます。まず、42あった区を20に再編し、区毎に防災訓練や安否確認を細かく行っています。

研修を受けた指導員を各区に2〜3人確保し、民生委員、中学生を防災組織に組み入れています。また地域女性防災隊も結成し、介護事業所と連携して要援護者の介助に備えます。吉田町と違い、予算に頼らず人的資源で災害に備える努力が印象的でした。そのためには住民の協力が重要で、意

識改革と共にしっかりとリーダーと組織作りが必要で、

## 研修を終えて

多額の予算や人員をすぐに確保できない日出町では、二宮町のような自主防災組織の育成が急務と言えます。同時に避難場所や避難路の設定、整備も重要で官民が協力し、災害時に死傷者を出さない強いまちづくりを早急に行うべきとの認識を新たにしました。

## 地域総合型 スポーツクラブ

### 社会厚生常任委員会

#### 日時

24年11月7日〜9日

#### 研修先

三重県いなべ市

岐阜県瑞穂市

#### 研修目的

日出町は23年度に地域総合型スポーツクラブ「ひまわりのたね」を設立しました。クラブの充実を図るため先進地のいなべブランド「元気づく



熱く語る日沖いなべ市長

りシステム」と、学校の芝生化事業を学ぶ。

また、23年度から安養寺グラウンドや幼稚園の芝生化を進めていることから、学校芝生化の成功実績についての調査・研究をするため。

#### 三重県いなべ市

21の行政サービスを認定し、いなべ市ブランド事業とする取り組みは全国的にも知られています。

14年に「元気クラブいなべ」が設立され、スポーツだけでなく、健康介護予防事業が重点的に実施されていることは、他のクラブとは大きく異なる点です。

住民の健康意識の高さは、施設が有料にも関わらず利用者が増えていることや医療費の抑制にもつながり、また各自治体からの研修生の受け入れも行っており全国的に注目されています。

#### 岐阜県瑞穂市

小学校は、芝生化して

3年目で芝は厚みを増しており、砂ぼこりが立たず、転んでも怪我をしない、夏場のヒートアイランド対策にもなっています。休み時間には子どもたちが元気に楽しく遊ぶ姿が見受けられました。

#### 研修を終えて

いなべ市の地域総合型スポーツクラブは、スポーツと健康・介護予防の連携拠点として活用してきたことは画期的であり、日出町も各課が連携をして「ひまわりのたね」を育て、特色ある事業を実施していくことが大切であると強く感じさせられました。

瑞穂市の学校芝生化事業は、植え付けの時期や土壌改良、維持管理をしっかりやっており、今後の芝生化事業に大いに参考となる研修となりました。

# 町民の声

## 新成人としての抱負、そして日出町

豊岡是城区

野上 洵



2013年1月13日という日を経て、晴れて僕は成人の仲間入りをしました。子どもの頃に憧れを抱いていた「大人」というものに、実際になつてみると実感は全く湧きません。これから先、社会進出や政治への参加、家庭の構築のことなどを考えると、不安ばかりが募ります。しかし、現実に僕はもうすぐ大学の三回生となり、就職活動という社会進出への大事な一步を踏み出します。同じ新成人の中に既にもう社会進出をしている人もいるという事実がある中で、いつまでも自分だけが子ども気分学生気分ではいけないと強く思いました。なので、新成人としてまずは一つ、きちんと社会に進出し貢献できるよう、学生のうちに自分がやるべきことをきちんと筋立てて、それを踏み外すことのないよう自分なりに頑

張つていこうと思います。

日出町に関してですが、特に大きな災害に見舞われるようなこともなく、地元の人はもちろん、他の市町村の方々からも愛されやすく育つた町だと思つています。最近では様々な新しい建物が建ち栄えてきており、自慢の町であると改めて実感しています。

生まれた時から今までずっと住み続けていく僕の影響としては、子どもの頃と比べると、人々が「来やすい町」に変わつていったと思います。しかし僕の意見としては、これからは地元の人達の生活に重点を置き、人々が「住みやすい町」へ変わつていってほしい、と思つています。

まとめはありますが、これで締めさせていただきます。ありがとうございました。

### 議会の今後の予定

2月 22日 議会運営委員会

3月 1日 定例会(初日)本会議  
議会運営委員会

4日 本会議(議案質疑・一般質問)

5日 本会議(一般質問(予備日))

6日～7日 常任委員会(予算)

11日～12日 常任委員会(予算)

13日～14日 常任委員会(所管)

15日 常任委員会(予算)

議会報編集特別委員会

議会改革調査特別委員会

議会運営委員会

18日 議会運営委員会

21日 定例会(最終日)本会議

### 議会を傍聴してみませんか

今、町ではどんなことが議論されているのだろうか。また、どんな計画があつて、どう進んでいるのだろうか。あなたの身近なこともかもしれません。簡単な手続きで、だれでも傍聴ができますので、是非おいでください。

### 編集後記

今年6月、日本テキサス日出工場が撤退します。昭和48年の創業以来、日出町の産業、財政に多大な影響をもたらしました。最盛期には、1800人の従業員を雇用し、法人税6億円近くを納める年もありました。

撤退により、町の税収1億6千万円がなくなり、町当局は、国からの交付税で数年後に補填できると強弁しますが、安定した自主財源がなくなるのは大きな痛手です。今後は、新たな財源確保に町と議会も一緒に知恵を出し、汗をかいていかなければなりません。40年の歴史の幕を閉じるにあたり、当初の誘致活動に携わった人を始め、操業に関わつたすべての方に感謝申し上げます。

(熊谷 健作)

編集委員長 森 昭人

副委員長 池田 淳子

委員 熊谷 健作

委員 工藤 健次

委員 藤井 博幸

委員 土田 亮治